

プログラム

- 12:30~13:00
開場
- 13:00~13:25
主催者・パートナー企業挨拶
- 13:25~13:40
基調講演
- 13:40~14:25
最終選考プレゼン(Presenter1~3)
- 14:35~15:20
最終選考プレゼン(Presenter4~6)
- 15:30~16:15
最終選考プレゼン(Presenter7~9)
- 16:15~17:15
審査時間・情報交換
- 17:15~18:15
審査結果発表および表彰式
- 18:15~19:00
情報交換

審査項目

- ① 新規性があるか
- ② 実現可能性があるか
- ③ 世の中を変える可能性があるか
- ④ 事業に対するパッションがあるか

会場投票にご協力ください

ご来場の皆様にも投票に参加して頂きます。以下のURLにアクセスして、最優秀チームを選んでください。会場投票の結果は審査員による審査の参考にさせていただきます。



■URL
<https://lne.st/okayama2020-audience>

最優秀賞
賞金30万円
副賞 ORIC入居権

企業賞
賞金10万円

中国銀行賞、KOBASHI HOLDINGS賞、
オルパヘルスケアホールディングス賞、
ガット賞、ナカシマプロペラ賞、MASC賞、
日本ユニシス賞

主催



株式会社中国銀行



株式会社リバナス



KOBASHI HOLDINGS株式会社

特別共催企業

地域開発パートナー



オルパヘルスケアホールディングス株式会社



株式会社ガット



ナカシマプロペラ株式会社



岡山県倉敷市水島地域への
航空宇宙産業クラスターの実現に向けた研究会



日本ユニシス株式会社

協力



株式会社山陽新聞社



岡山県



岡山市



倉敷市

お問い合わせ先

株式会社リバナス (担当/塚田・上野) TEL03-5227-4198 Mail LD@Lnest.jp

株式会社中国銀行 (担当/水田) TEL086-234-6351 Mail mizuta_masaru@chugin.co.jp

東京都新宿区下宮比町1-4 飯田橋御幸ビル5階

岡山市北区丸の内1-15-20

基調講演



株式会社エアロジールラボ

執行役員 管理部長 兼 経営戦略室長 **太田 尚友 氏**

大手総合商社や通信キャリアにて通信系ソリューションや新規事業の立ち上げをメインで担当。管理系業務に転換後、経営企画室長や財務責任者として、ファイナンス業務や事業計画の策定・分析、M&Aを担当しIPOプロジェクトなどの各種プロジェクトマネージャーとしても活躍。昨年、現職のCEOである谷と知り合い、経営理念や事業ビジョンに共感し、同年7月にジョイン。経営陣の一角として、経営戦略の策定やファイナンス業務、IPOプロジェクトリーダーを担当する。エアロジールラボは、自社で設計した機体に世界中から厳選した高品質、高性能なコンポーネントを最適化し、搭載する事により、あらゆるニーズに応えるドローンを開発できる日本国内では数少ない純国産ハイブリッド型ドローンの機体開発メーカー。岡山のテックプランターで発掘されたドローンベンチャーが2025大阪万博でのハイドローンプロジェクトに参加し、そこから世界への更なる事業展開を目指している。

特別講演

ベンチャー企業との共創を進めるための思考と行動

本講演会は、主にベンチャー企業との共創についての考え方、理解を深めることを目的として実施いたします。今回は、理研ベンチャーである株式会社ジャパンモスファクトリーの代表取締役CTO井藤賀操氏を招き、取り組みを紹介いただくとともに、いかに研究開発型ベンチャーとの共創を生み出すかについて、リバナス代表丸、KOBASHI HOLDINGS代表小橋氏を交え、議論します。これを元に、岡山県内の企業による新連携、事業創出を底上げすることを目指します。

KOBASHI HOLDINGS株式会社	代表取締役社長	小橋 正次郎 氏
株式会社ジャパンモスファクトリー	代表取締役 CTO	井藤賀 操 氏
株式会社リバナス	代表取締役グループCEO	丸 幸弘

ファシリテーター：株式会社リバナス 執行役員 塚田 周平

研究開発型ベンチャー発掘・育成プログラム 岡山テックプランングランプリ

最終選考会

選考を勝ち抜いたファイナリストによる
熱いプレゼンテーションを見逃すな!

地球と人類の課題解決に資する
研究開発型の革新的テクノロジー全般

ものづくり
分野

バイオ、
ヘルスケア
分野

食、農業
分野

海洋、
水産分野

日時 2021年 **2月6日(土)**
13:00~18:15

情報交換会 18:15~19:00

場所 中国銀行本店 3階大ホール
岡山県岡山市北区丸の内1丁目15-20

特別講演

ベンチャー企業との
共創を進めるための思考と行動

プレゼンテーション

書類選考を経て選ばれたファイナリストによる
プレゼンテーションを審査員が審査します。

情報交換

プレゼンター、審査員、パートナー企業、
参加者による情報交換を行います(参加費
無料)



OKAYAMA
TECH PLANTER.

審査員紹介



株式会社リバネス
代表取締役グループCEO
丸 幸弘 審査員長

東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命科学専攻博士課程修了、博士（農学）。大学院在学中に理工系学生のみでリバネスを設立。日本初「最先端科学の事前実験教室」をビジネス化。大学・地域に眠る経営資源や技術を組み合わせて新事業のタネを生み出す「知識製造業」を営み、世界の知を集めるインフラ「知識プラットフォーム」を通じて、200以上のプロジェクトを進行させる。ユングレナなど多数のベンチャー企業の立ち上げにも携わるイノベーター。



株式会社中国銀行
代表取締役専務
寺坂 幸治

1957年生まれ。中小企業診断士。1980年に岡山大学法文学部（経済学科）を卒業し、中国銀行（現、中国銀行）に入行。2003年から日生支店長、府中支店長、融資部長を歴任。2013年に取締役就任し四国地区本部長、本店営業部長。2017年に常務取締役、2019年より現職。同年、岡山経済研究所の専務理事、岡山イノベーションプロジェクトの実行委員長に就任。岡山の創業機運の醸成を図り、本質的な地方創生の実現を目指すため、熱い想いで若き創業者・第二創業者支援の最前線に立っている。



KOBASHI HOLDINGS 株式会社
代表取締役社長
小橋 正次郎

1982年岡山県生まれ。早稲田大学大学院経営管理研究科修了。2008年小橋工業株式会社入社。2016年同社代表取締役社長に就任。2017年KOBASHI HOLDINGS株式会社を設立、代表取締役社長に就任。1910年の創業以来、農業の機械化を推進し、農業分野の課題解決に尽力。長年培ってきた知識や技術を応用し、スタートアップ企業とイノベーションを共創し、地球規模の課題解決に取り組む。



オルパヘルスケアホールディングス株式会社
代表取締役社長
前島 洋平

1967年岡山県生まれ。岡山大学大学院医学研究科博士課程修了。岡山大学病院にて約20年間、腎臓内科医として勤め2011年に同大教授に就任。2014年に事業継承し、株式会社カワシホールディングス取締役、2015年同社代表取締役社長に就任。同社は、1921年の創業以来、医療機器販売業、介護事業を中心とし、医療機関から大学・企業の研究所、介護施設、個人まで医療に関する幅広いソリューションを提供している。2021年1月、創業100周年を機に社名をオルパヘルスケアホールディングス株式会社に変更。現在も、兵庫県立大学、岡山大学大学院にて研究指導をするほか、岡山大学病院の診療講師として診療を行う。研究やビジネスを通じて、医学・医療の発展に貢献し、健康寿命の延伸に寄与することを目指している。



株式会社ガット
取締役 経営戦略室 室長
廣瀬 吉嗣

1983年、千葉大学工学部画像工学科写真工学専攻卒業、富士ゼロックス株式会社に入社、総合研究所にてデジタルフルカラー複合機の研究開発に従事。2010年、米国ゼロックスのオープンイノベーションスタイルを日本に持ち込み、みなとみらい産学官連携プラットフォームを設立、ラボ長としてイノベーション事業を推進。その後、ヘルスケア事業部長として、診療情報や製薬情報を扱うソリューション事業を統括。2019年、公募により津山市の外郭団体「つやま産業支援センター」の統括マネージャーに就任。2021年、株式会社ガットに入社、取締役経営戦略室長として「レジリエンス=様々な変化や困難に対して、強くしなやかに生き抜く力」を大切に、地域内外の人脈と知恵、資産を最大限に活かし、SDGsに寄与する新たな事業開発の緒に就く。



ナカシマプロペラ株式会社
代表取締役会長
中島 基善

岡山県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。学生時代に学生組織AIESEC日本委員会の海外インターンシッププログラムに参加。同日本委員会委員長を務めた。74年にナカシマプロペラ入社、96年に同社社長、2021年より同社代表取締役会長。船用機器・IT・医療事業などグループ18社を統括するナカシマホールディングス社長を兼務する。多角化経営と地域貢献の功績により2016年に第14回沢栄一賞を受賞。



倉敷水島航空宇宙クラスター研究会 (MASC)
事務局長
坂ノ上 博史

1978年生まれ。倉敷市出身。早稲田大学第一文学部卒業。在学中よりSOHO&テレワークの調査研究と共同事業開発に取組み、経営コンサル会社取締役を経て、独立。300社を超える経営指導と30社を超える創業支援を担う一方、自らも地元・倉敷を拠点に、サテライトオフィス『住吉町の家分福』や、「高梁川流域学校」等のプロジェクトを手掛ける。一般社団法人高梁川プレゼンター代表理事。倉敷水島航空宇宙クラスター研究会 (MASC) では、事務局長を務める。



日本ユニシス株式会社
中国支店 支店長
澤本 健志

入社後、主に民間企業のSIビジネスの営業として、また新規事業（デジタルビジネス）や地方創生事業などに従事。現在、中国地方を管轄し、地元感覚の自分ごとで産・学・官・金連携で地域社会の課題解決に取り組む。



リアルテックファンド
業務執行役員グロースマネージャー
山家 創

宮城県仙台市出身。2009年、東北大学経済学部卒。研究開発型の半導体スタートアップで経営企画を経て、2015年にリアルテックファンドに参画。2020年3月に地域発リアルテックベンチャーへ投資する「グローバルティアテックファンド」を組成、地方から世界の課題解決を目指す。主な投資領域は、エレクトロニクス・新材料・医療機器・ヘルスケアなど。

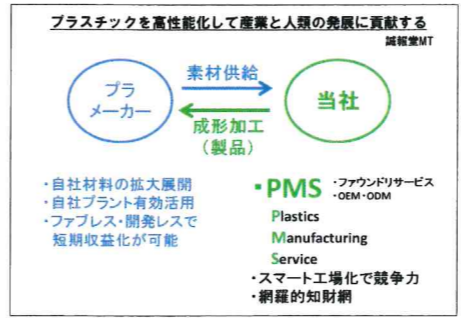
最終選考会プレゼンター

1 誠報堂MT
岡 秀明



成形メディーター法によって実現される
新規エンジニアプラスチック材料群の世界展開

当社が独自に開発した「成形メディーター法」によりプラスチックを高機能化し応用の可能性を広げます。例えば、耐熱性や強度などの性能を大幅に向上できるため、これまで樹脂化が困難であった金属代替用途を可能にし新産業等に貢献することを目指します。

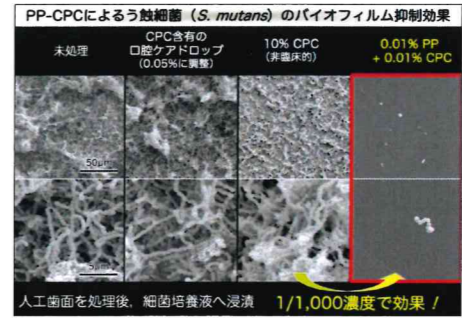


2 SoLA
高柴 正悟



新規リン酸化プルラン-CPC殺菌剤の
複合物を配合した低濃度で
長期間作用するオーラルケア用品の開発

現在の口腔ケア用品には殺菌剤として塩化セチルピリジニウム (CPC; 0.05%) が多用されているが、多糖類のプルランをリン酸化したものと混合すると、CPC濃度を1/5としても同等の殺菌作用を長時間維持できた。これを応用して、洗口剤（特に高齢者や病弱者に有効）の開発を目指した。



3 湿式材料デザイン
小野 努



マイクロ化学プロセスで
新たな機能性素材を創出する

岡山県下の微細金属加工技術を活かして、精密な液滴・微粒子・カプセル・微細繊維を連続生産できる技術を熟成してきました。なかでも従来の紡糸技術では到達できなかったナノ繊維を1本の糸として連続して湿式紡糸できることを世界で初めて実現し、新しい繊維製品の可能性を開拓しています。

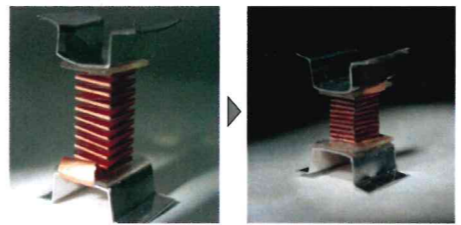


4 ストロープ株式会社
今井 裕一



マッスルライク・アクチュエータ
&ジェネレータ

エンジン、モータに次ぐ第三の駆動機構である積層型静電アクチュエータSimple-toneの産業化を目指す。Simple-tonは人や動物の動きさながらのロボットやロボットスーツを実現するマッスルライクな直動型アクチュエータである。ブレード・ナセルレスで、台風でも発電できる堅牢な発電機構造を兼ね備える。

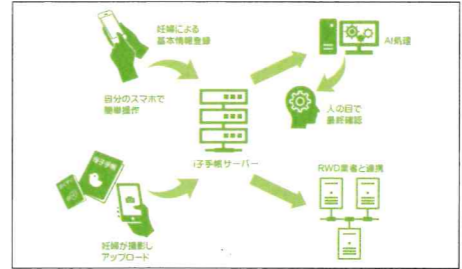


5 そなえ株式会社
牧 尉太



母子手帳のデジタル化と予防医療拡充による
次世代社会モデルの創成

母子手帳は、現代においてもデジタル化が普及していない。また妊娠時の生活環境は予防医学的に重要な因子であるにもかかわらず、現在の母子手帳では対応できていない。よって、既存の母子手帳をデジタル化、妊娠時の生活環境を予防医学に繋げるデータベースの構築を可能とし、AIを用いたデジタルデータの精度向上と医療ビッグデータの利活用による新産業の創生を行う。



6 有限会社グリーンサム
武久 修



気候制御灌水施肥コントローラーが
植物栽培の勤をシステム化する

灌水施肥には、過剰施肥による土壌・水質の汚染の抑制や、緩やかな施肥による苗のストレスの低減などが期待できるが、いかに運用すべきかについては勤に頼ることが多い。気候制御灌水施肥コントローラーによって、勤を「見える化」、農産物の高品質安定化と収穫量を増加を実現する。



7 Be:Zen
瀧本 亮



海洋廃棄物(カキ殻)の再資源化による
新事業の創造・展開

廃棄カキ殻を当社独自の湿式ボールミル製法によって、高品質な炭酸カルシウム微粉末“ORGANIC Calcium MICROPOWDER”の生成に成功した。画材・工芸素材（吉備胡粉）/スポーツ関連（滑り止めチョーク）/土壌改良関連/農業・畜産関連/バイオマス関連/メディカル・ヘルスケア関連などの分野に順次事業展開を図る。

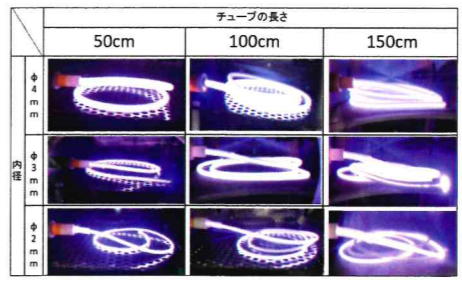


8 Medical DLC Labo
逢坂 大樹



Diamond-like-carbon (DLC) による
医療器機用コーティングの
次世代プラットフォーム作成

DLCは、極薄・強靱・半永久耐性・非アレルギー性・無毒性・低炎症反応性のコーティング素材である。さらに、官能基付加等で様々な性質変化が可能で、生体反応もコントロールできる可能性がある。DLCを医療用コーティングの次世代プラットフォームとして発展させる事が本テーマの目的である。



9 チーム ケミプロセス
木村 幸敬



バイオ燃料生産時の副産物を
生分解性バイオプラスチック原料に
ワンポットで転換

世界の自動車が電気自動車に変わる低炭素社会でも、大型車のためのディーゼル燃料は必要であり、その燃料は植物油から調製するバイオディーゼル燃料 (BDF) で代替されるべきである。BDF調製の際副産されるグリセリンを、ワンポットで乳酸二量体 (ラクチド) に転換する化学プロセスの開発が目的である。

